



広報みすず



第461号

美鈴が丘まちづくり協議会

「何もしないと美鈴が丘は

ゴーストタウンになります」

美鈴が丘団地も40年を経過し、少子高齢化が急速に進んでいます。今は前期高齢者が多く活気のある住みよい団地ですが、現在3人に1人の高齢者が5年後は約半数となるのです。人口も1万2千人であったものが現在1万人を切り、10年後は7千人程度になると推計されています。さらに日本全体では、平成20年を境に人口が減少しており、20年後には東京以外のすべての地方が過疎化・コミュニティの崩壊という状況になるとの見込みもあるのです。このような状況の中で、町内会を辞める・辞めたいという声が団地内から聞こえてきます。理由は「役員が回ってきたが、年齢や体調でその役割が果たせない」ことが主なものようです。誰もが高齢・病気になるりますが、同時に「住みなれた家やまちでいつまでも暮らしたい」と願っています。核家族化により家庭の介護力は著しく低下し、国は介護保険の「社会的介護」で担うとしています。公助だけでは多様化するニーズに対応するのは困難です。補完するプラスαがいるのです。それが「共助」「向う三軒両隣」「近所で近助」の町内を中心とした互助・見守りシステムです。「若い時の7割の力であっても、3割をカバーする知恵と助けがあれば100%の生活ができる」これがご近所・町内会のです。

「安心・安全なまちは近所から」

一時期、流しの窃盗犯や高齢者を狙った訪問販売などの被害が続発したことがあります。防犯カメラの設置や町内パトロール、通学時を中心とした見守りなどの強化も必要ですが、一番効果があるのは隣近所の目配り・声かけなのです。見かけない人や他府県ナンバーの車両

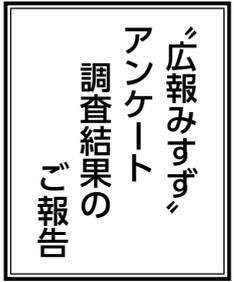
温もりのあるまちを目指して

が止まっている場合、挨拶をしたりナンバープレートを見るふりをするだけでよいのです。9割はこれだけで防犯できます。特殊詐欺も隣近所で相談できる付き合いがあれば防ぐことができます。町内がまとまっているだけで犯罪は大幅に抑止できるのです。さらに防災でも近所の力は大切です。西日本豪雨災害では南街区で土砂崩落がありました。今後は南海トラフや五日市断層による地震、大型台風などへの備えが大切です。大規模地震・100m級の台風であれば美鈴が丘全域が甚大な被害を受けると想定されますが、大規模であるほど消防・警察等を中心とした公助は機能しません。道路等が寸断され公そのものが被災するからです。阪神・淡路大震災では多数の方が倒壊した建物の下敷きで犠牲となりましたが、助かった人の8割は隣近所の救出によるものでした。大規模災害では公助(役所・消防)が機能するまでの3日間を生き延びることが大切です。日頃から家具の転倒防止策や非常食の備蓄などの自助、そして、隣近所で助け合えるような日頃の付き合いと町内訓練の共助が必要なのです。町内会はいざという時の命を守る砦です。

「明日への文化を」

町内会の加入は任意であり、未加入を理由として不当な扱いを受けることはありません。しかし、「魅力ある暮らしやすいまち」は一人の力ではできないのです。どのような困難な課題があっても、みんなの工夫と努力があれば解決することができます。拒絶の姿勢と無関心は何も生み出せません。政治の無策、行政の力が低下している今日こそ、自分たちの課題は自分たちで解決に導く「共・協」の力を発揮することが必要なのです。「米百俵の精神」の故事を紹介するまでもなく、次世代への継承を見据えた町内会活動が求められています。町内会に加入してください！そして力を貸してください！

(福の神)



昨年11月のアンケート調査にご協力を頂き御礼申し上げます。皆様から1438件のご回答を頂戴しました。その中の約350人の方々からは

- ・ 毎月楽しみにして読んでいます。
- ・ 美鈴が丘のまちの様子が良い判って有り難い。
- ・ 広報の方々ご苦労さまです。

などのコメントを頂戴し、大変ありがたく感謝いたしております。

さてアンケート調査の結果がまとまりましたので、下記に報告させていただきます。尚紙面の都合上すべてのご意見、ご要望を掲載出来ないことをお詫びいたします。

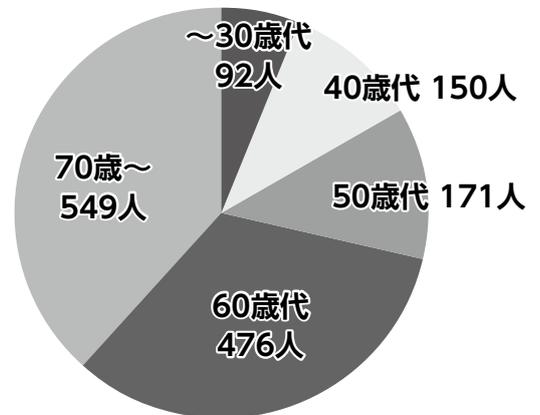
アンケート集計

①アンケート用紙の回収率

用紙送付件数	3593件
用紙回収件数	1438件
男性	414人
女性	1024人
回収率	40%

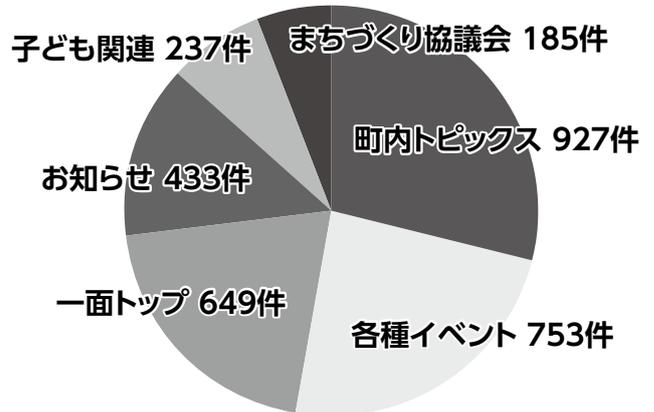
②年代別回収件数

年 齢	人 数
～30歳代	92人
40歳代	150人
50歳代	171人
60歳代	476人
70歳～	549人



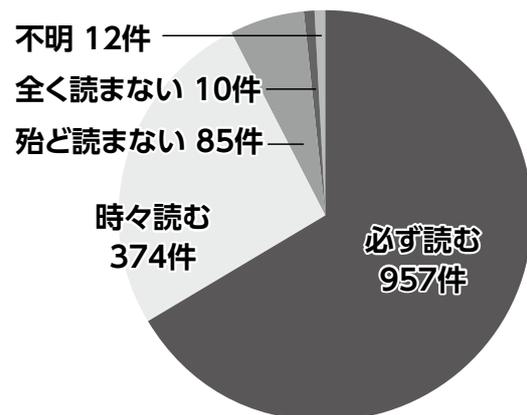
③興味ある記事について(複数回答有)

記事内容	件 数
町内トピックス	927件
各種イベント	753件
一面トップ	649件
お知らせ	433件
子ども関連	237件
まちづくり協議会	185件



④広報みすずを読む／読まない

項 目	件 数
必ず読む	957件
時々読む	374件
殆ど読まない	85件
全く読まない	10件
不明	12件



頂いた主なご意見及びご要望

- ・紙面に町民の忌憚のない意見を発表するコーナーを設けてほしい。また意見をまち協とも連携して共有してほしい。声の欄のような皆さんが参加できるような場を設けては如何でしょうか？
- ・天声人語や西広島タイムスの干潮満潮の様な筆者の論調があったらいい。
- ・まち協として一般町民からの意見、要望を受け付けるシステムが欲しい。(例：目安箱の様な物)
- ・団地内の多彩な趣味、才能をお持ちの方や、ボランティアで貢献されている人の人物紹介記事などを掲載してほしい。
- ・まち協の収支報告書を一般町内会会員にも公開してほしい。
- ・写真や文字をもっと大きくして高齢者にも見えるようにしてほしい。
- ・数か月先の行事予定のお知らせを充実してほしい。
- ・ペーパーレス化が時代の趨勢になっています。紙面発行をやめてホームページ上の発行はどうでしょうか？
- ・全戸配布する必要はないのでは？ペーパーレスの時代に資源の無駄使いだと思う！
- ・年4回でいいのではないかと？それで町内会費を少しでも安くしてほしい。
- ・広報みすずの役割とは何ですか？
- ・発行経費年間130万円を減らすために、発行回数を減らし(例：隔月発行、3～4か月に一回発行)、節約したお金を他の事業運営資金に使用してはどうか？
- ・広報部の年間予算130万円の使用明細が知りたい。
- ・町内会長が報酬を受けている町内があると聞いた。確認してほしい。
- ・共同募金・寄付については町内会費から一括寄付するのではなく、自由参加にしてほしい。(赤い羽根、災害義援金など)
- ・町内会や社協の啓発活動記事(福の神は非常に良かった)、子ども達の活動記事、ボランティアの貢献記事などを掲載してほしい。
- ・団地内の問題を提起して記事をのせて欲しい。
- ・“アウトレット広島”までのリンリタクシー延伸を考えてほしい。
- ・まち協で提言した課題の具体的取組や改善結果を報告してほしい。(具体的事例の指定は無い)
- ・町内で被害が出ているのに見舞金を出さず、外部へ多額の義援金を出したのは如何なものか？
- ・広報部としてモール街の活性化のため、責任者と連携し広報活動で協力できないか？
- ・まち協本部役員、各部会の役員の仕事内容が判らない。
- ・団地の魅力を団地外へ広報活動を通して発信してほしい。住みたい街の魅力アップを図る。
- ・町内運動会は少子高齢化で運営が難しくなっている。小学校の運動会に編入して共同開催出来ないか？
- ・子ども達の活動をもっと取り上げてほしい。クラブやボランティアなど。

■今後の対応

以上出来る限り頂いたご意見、ご要望を掲載しました。今後調査結果を更に精査し、一層親しんで頂ける紙面づくりに生かしたいと考えております。又調査結果の内容の具体化を推進するために関連部会と連携してまいり、後日順次報告させていただきます。

最後に多くの方々から広報活動へのご理解を頂き紙面をお借りして御礼申し上げます。

美鈴が丘まちづくり協議会広報部長 **山本 幸男**

まちづくり協議会2月定例役員会報告

1 送電鉄塔の土砂崩落対策工事の完了について (中国電力広島電力所)

昨年7月の西日本豪雨災害により、中学校裏手の送電鉄塔の基礎部分流出する事態が発生した。7月末から9月にかけて中学校等の協力を得て復旧工事に着手し、無事終了した。

2 第40回とんど報告 (企画部長)

好天にも恵まれ、餅つき大会への参加者200人や、バザー等の新企画もあり、多数の参加者で盛況に行うことができた。また、小・中・高の連携・協力も円滑に機能し、効率的な運営体制であった。

3 カレンダーの販売状況 (リンリタクシー事務局)

印刷した1,000部はほぼ完売できた。希望者がいれば若干部は頒布できるので申し出ていただきたい。

4 広報のアンケート結果について (広報部長)

全戸配布でアンケート用紙を配布し、1,400余の回答があった。いろいろの意見・要望が寄せられ感謝している。これらの結果を取りまとめ第1弾として3月号に掲載する。

5 平成31年度おりづるみすずの中止報告 (青少協会長)

例年参加していたフラワーフェスティバルのおりづるみすずパレードは、平成31年度から中止となった旨の通知があった。

6 40周年記念誌の印刷・頒布方法について検討(事務局長)

4月を目前に編集作業中。印刷部数や頒布などの方法について協議中。30周年誌は全戸無料配布したが、全戸無償配布は行わないことで決定。印刷部数、頒布金額などは継続検討となった。

7 質疑その他

①他地区では地震避難場所の表示がよく見ると、美鈴が丘では? ②避難場所のカギ箱を行政がリモートで開錠するとの報道があったが? ③市が河川流量調査を行うという報道があったが美鈴が丘は対象なのか? ④以前広工大の研究室が下水の流量調査を行うという話があったが? ⑤①④を安藤防災部長が確認することになった。

⑤公園のブランコの下が掘れて機能・美観上問題があるがゴムマットを入れるなどの方策はないだろうか。 ↓各町内で石や土を入れて対応している。あまりにひどいようであれば、区の管理課と協議すればよいのではないか。

⑥広銀前の陸橋のスロープがでこぼこしており、高齢者等の通行に困難が生じている。 ↓森野防犯組合長が佐伯区と対応策を協議することとなった。

交通安全標識看板「横断歩道を渡る」を設置しました

2月7日(木)佐伯

交通安全美鈴が丘支部に於いて、横断歩道以外、8か所に許可を頂いて標識看板を設置しました。駐在所によると、美鈴が丘の交通に関する事故は、昨年84件、そのうち横断歩道以外を歩行中に起きた事故が、4割、佐伯区全体と比較すると10ポイント多いとのこと。高齡化が進むにつれて年々増加傾向とのこと、運転者も歩行者も高齡者の交通事故は年々増えており、子どもは少々不便を感じる人としては是非、信号を



郵便局前に設置

守り横断歩道を歩いて少しでも少なくなるよう...くれぐれも宜しく

(佐伯交通安全協会美鈴が丘支部長 平川和男)

◆砂防ダムの点検 1/25 緑町内会有志で町内にある砂防ダム4か所の点検を実施した。土砂の溜まりは少なくおむね良好で、一部流路清掃が必要な処は今後の取組となる。(小川)



緑2丁目西砂防ダム点検の後で

お詫びと訂正

2月号で、記述に誤りがありました。左記通り訂正いたします。

①おくやみ欄 (誤)吉田聡明

(誤)古田聡明

(正)古田聡明

②鈴が峰「初日の出」 (誤)東4町内会長 武村

(正)東3町内会長 松村

慎んでお詫び申し上げます。

お知らせ・催し

3/1(金) 美鈴が高校卒業式

3/12(火) 中学校卒業式

3/20(水) 小学校卒業式

3/21(木) サムエル子どもの園卒園式

3/15(金)・16(土) 平成30年度まち協監査

3/24(日) まち協総会

4/9(火) サムエル子どもの園入園式

4/10(水) 美鈴が丘高校入学式

4/10(水) 中学校入学式

4/9(火) 小学校入学式

おくやみ

2/12藤原ひとみ様(59)緑1

ご冥福をお祈りします。

◎今月の一句

笹舟の右舷左舷や

春に昼

康代

編集 美鈴が丘まちづくり協議会広報部

発行 美鈴が丘まちづくり協議会

発行日 平成31(2019)年3月8日

第460号

発行日

平成31(2019)年3月8日